イオン環境財団と大学の取り組み

「環境負荷の軽減」を目指し
パネルでの制作を無くし
FSC認証紙を使用した
ポスターにて製作を行って
おります。
エックス
FSC® C163458

環境課題に取り組む 人材の育成を目指して

イオン環境財団は「大学をはじめとした様々な専門機関と連携」し、里山に関する共同研究を進めるとともに環境分野で活躍するグリーン人材の育成プログラムを構築し学びの場を提供しています。

京都大学

2025年6月　無人島畠島にてビーチクリーン（和歌山県）

2022年7月、「森里海連環学に基づく新しい里山・里海の共創に向けた教育・研究・社会連携活動の推進」を目的として、京都大学フィールド科学教育研究センターと連携協定を締結し、新しい里山・里海 共創プロジェクトを展開しています。京都大学の試験地・実験所での観察会、シチズンサイエンス、里山・里海活動など、市民と連携した取組や、勉強会・フェスでの学びや交流の取組など、森・里・海をフィールドとした研究や実践を連携して進め、その成果を発信しています。

東京大学

2025年11月　アースデイ幕張でのステージ発表（千葉県）

2017年から5年間、東京大学未来ビジョン研究センターと連携し、「イオン未来の地球フォーラム」を開催してきました。2022年3月には、自然と調和した健全な人間社会の構築と地域の経済再生を目指し、同センターと研究ユニット「イオン東大里山ラボ」を設立しました。地域における先進的なアイデアの実践を目指し、様々な活動を行っています。

国連大学

2026年1月　COP30ユース報告会　発表・パネルディスカッション（東京都）

2024年、国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）と当財団は、昆明・モントリオール生物多様性枠組などの国際目標達成に向け、連携協定を締結しました。本協定を通じ、両者の知見と国際ネットワークを活用し、国内外の課題調査や解決策の研究を推進します。また、地球環境問題に取り組むユース世代のグローバルリーダー育成を目指すプログラム「Global Youth MIDORI platform」を実施しています。

東北大学

2025年3月　仙台防災未来フォーラム（宮城県）

2021年6月、東北大学災害科学国際研究所、イオンモール株式会社、当財団の3者は「産学連携協力」に関する協定を締結し、「イオン防災環境都市創生共同研究部門」を立ち上げました。安全で安心できるレジリエント・コミュニティの創生を目指して商業施設を拠点とした環境都市の防災・減災戦略や、地域連携拠点の形成をテーマに共同研究・活動を進めています。

千葉大学

2025年12月　君津イオンの森にて代々水中学生へのレクチャー（千葉県）

2022年度より、千葉大学大学院園芸学研究科と連携を開始しました。「君津イオンの森」をフィールドワークの場として活用し、植生調査、苗木の食害対策、雑草管理手法の実証を通じて、生態系の変化などを科学的に調査研究しています。2024年度は、新たな里山型森林づくりとして、森の楽しみ方や育成・再生方法について研究しました。

早稲田大学

2025年10月　寄附講座（滋賀県）

2020年9月、早稲田大学と当財団は、時代に即した環境課題の解決を目的に、「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。地域課題対応や国際環境人材育成について協働しています。連携のコンセプトは「森づくり、人づくり、地域づくり」です。2022年からは寄附講座（サスティナブルコミュニティ論）を開講し、学術研究に基づく持続的な地域社会である「イオンの里山」をテーマに人材育成・研究を行っています。

五十音順にて掲載